



2017年「4月8日タイヤの日」タイヤ点検結果

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 池田育嗣）は、4月6日から10日にかけて全国9ヶ所で実施いたしましたタイヤ点検等の結果をまとめましたのでここに発表いたします。

本点検は2017年「4月8日タイヤの日」啓発活動の一環として、全国タイヤ商工協同組合連合会と共にユーザーの皆様にタイヤの日常点検・整備の重要性を幅広く訴求することを目的に実施したものです。

1.タイヤ点検結果の概要

今回タイヤの点検を行った車両は、乗用車系が256台、貨物系が24台の合計280台となり、これらの車両の整備状況は次の通りです。

1) タイヤ整備の車種別状況（表－1）

タイヤの整備不良車両は、点検台数280台中53台（不良率は18.9%）となっております。

表－1 タイヤ整備状況

車種	点検車両台数	タイヤ整備不良台数	不良率
乗用車系	256台	43台	16.8%
貨物系	24台	10台	41.7%
合計	280台	53台	18.9%

2) 主なタイヤ整備不良の項目別内訳（表－2）

乗用車系・貨物系共に「空気圧不足」が1位（乗用車系14.8%、貨物系29.2%）となっております。空気圧不足は、自動車燃費に悪影響を及ぼすばかりではなく、安全走行にも影響いたします。このため、空気圧が不足していた場合には、その場で空気を補充しつつ、ドライバーに対しては、日常点検（空気圧管理）の励行をお願いいたしました。

表－2 主なタイヤ整備不良の項目別内訳

項目	乗用車系		貨物系		合計	
	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率
タイヤ溝不足	1	0.4	3	12.5	4	1.4
偏摩耗	1	0.4	0	0.0	1	0.4
外傷	0	0.0	0	0.0	0	0.0
釘・異物踏み	3	1.2	0	0.0	3	1.1
空気圧不足	38	14.8	7	29.2	45	16.1
その他	5	2.0	1	4.2	6	2.1
計	48	—	11	—	59	—

- 3) 一般社団法人日本自動車タイヤ協会、全国タイヤ商工協同組合連合会の2団体では、このタイヤ点検結果を踏まえ、正しい空気圧管理が安全走行やエコドライブの基本であることなどを尚一層啓発していくことといたします。



輪厚 PA での点検状況



下松 SA での点検状況

2.タイヤ点検等の概要

1) 実施場所

実施日	時間	実施場所
4月 6日 (木)	9:30~12:30	道央自動車道 輪厚PA・下り線
4月 7日 (金)	10:30~14:00	東北自動車道 菅生PA・下り線
4月 7日 (金)	13:00~16:00	東北自動車道 羽生PA・下り線
4月 6日 (木)	10:00~14:00	新東名高速道路 岡崎SA ^{※1}
4月 6日 (木)	9:00~12:00	名神高速道路 吹田SA・上り線
4月 7日 (金)	11:00~12:00	高松自動車道 津田の松原SA・下り線
4月 7日 (金)	10:00~11:30 ^{※2}	山陽自動車道 宮島SA・下り線
4月 10日 (月)	11:00~11:30 ^{※2}	山陽自動車道 下松SA・下り線
4月 6日 (木)	9:30~10:45 ^{※2}	九州自動車道 古賀SA・下り線

※1 上下線集約型

※2 天候不良により点検時間を短縮して実施

2) 主な点検項目と基準

点検項目		点検基準	
タイヤ溝 (高速走行時推奨)	の タ 種 類 イ ヤ	乗用車用	1. 6 mm
		小形トラック用	2. 4 mm
偏摩耗		両肩摩耗、肩落ち摩耗等	
外傷		釘・異物踏み、カット（コードに達するもの）等	
空気圧不足		指定空気圧 未満	
その他		クラック、バルブコア不良等	

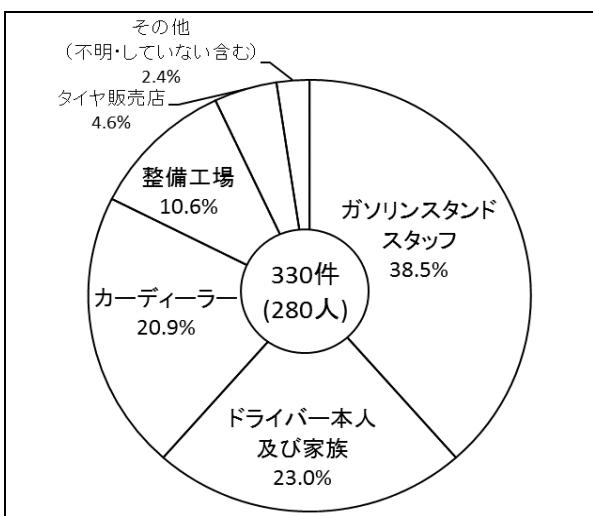
3.アンケート調査結果の概要

タイヤ点検を行ったドライバーにアンケートを行い、280人より回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。

(グラフの中心に表示している数字は、当該質問の有効回答者数です。)

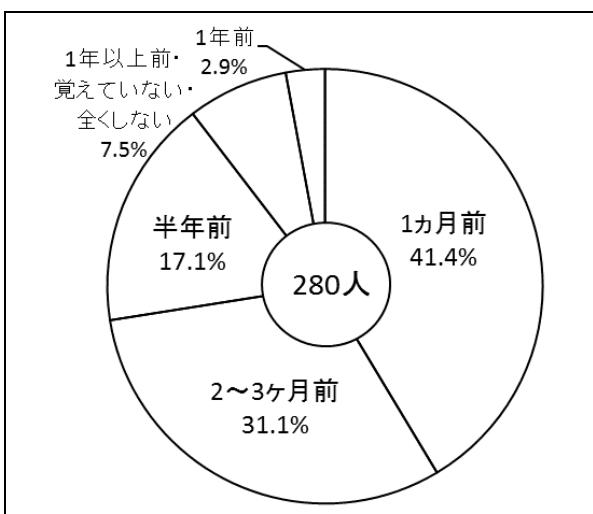


Q1 エアゲージを使用したタイヤの空気圧点検は、主に誰が行っていますか？（複数回答）



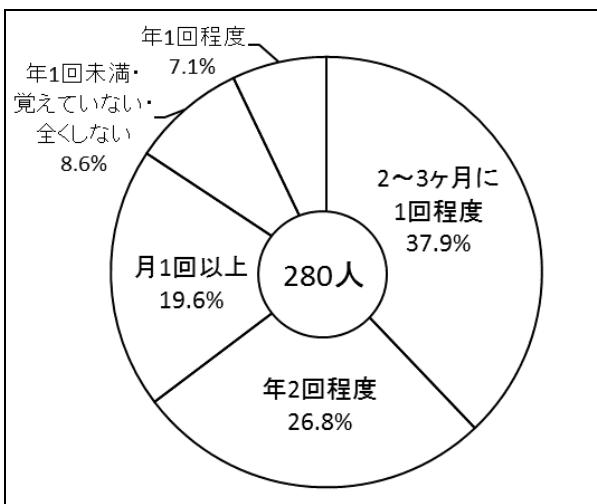
誰が空気圧点検を行っているかについては、「ガソリンスタンドスタッフ」が127人(38.5%)と最も多く、次いで「ドライバー本人及び家族」76人(23.0%)、「カーディラー」69人(20.9%)、「整備工場」35人(10.6%)、「タイヤ販売店」15人(4.6%)となりました。

Q2 それは、前回いつ頃行いましたか？



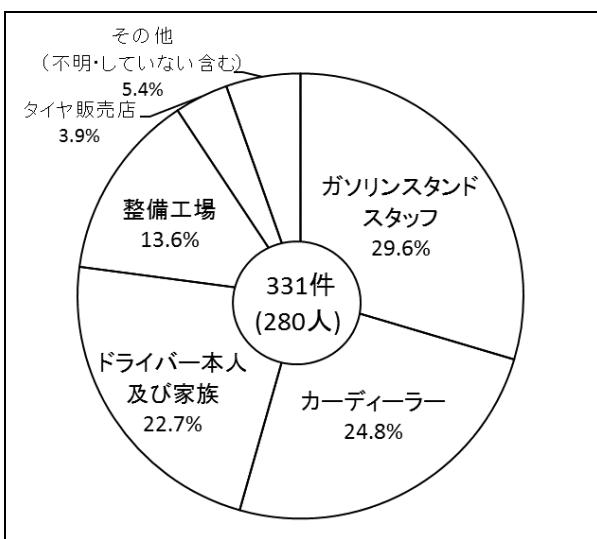
前回いつ頃空気圧点検を行ったかについては、「1ヶ月前」と回答したドライバーが116人(41.4%)と最も多く、次いで「2~3ヶ月前」87人(31.1%)、「半年前」48人(17.1%)、「1年以上前・覚えていない・全くしない」21人(7.5%)、「1年前」8人(2.9%)となりました。

Q3 その頻度は、どれくらいですか？



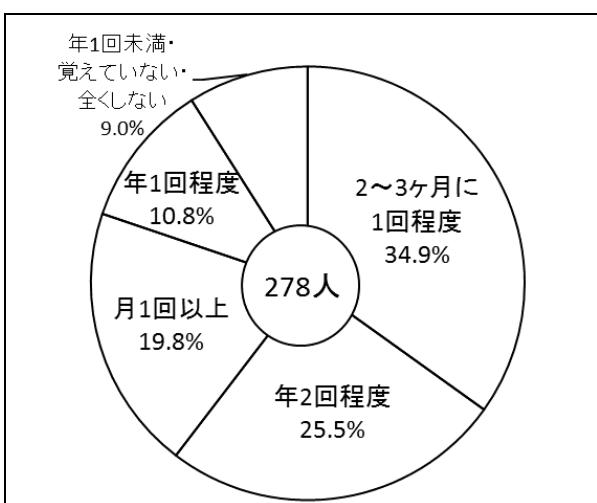
空気圧点検の頻度については、「2~3ヶ月に1回程度」が106人(37.9%)と最も多く、次いで「年2回程度」75人(26.8%)、「月1回以上」55人(19.6%)、「年1回未満・覚えていない・全くしない」24人(8.6%)、「年1回程度」20人(7.1%)となりました。

Q4 空気圧以外のタイヤ点検は、主に誰が行っていますか？（複数回答）



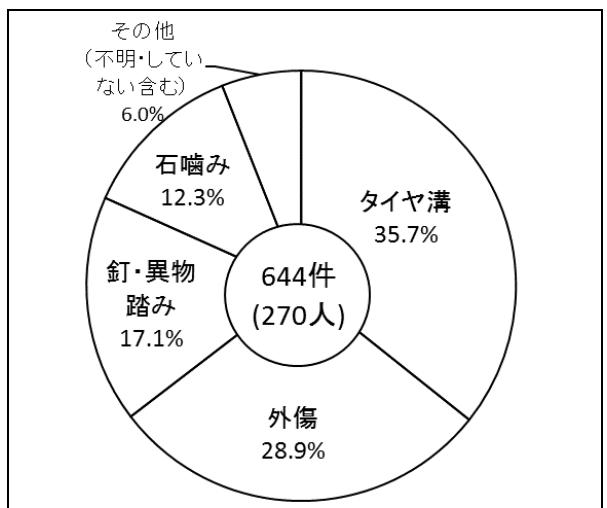
空気圧以外のタイヤ点検を誰が行っているかについては、「ガソリンスタンドスタッフ」が98人(29.6%)と最も多く、次いで「カーディーラー」82人(24.8%)、「ドライバー本人及び家族」75人(22.7%)、「整備工場」45人(13.6%)、「タイヤ販売店」13人(3.9%)となりました。

Q5 その頻度は、どれくらいですか？



空気圧以外のタイヤ点検の頻度については、「2~3ヶ月に1回程度」が97人(34.9%)と最も多く、次いで「年2回程度」71人(25.5%)、「月1回以上」55人(19.8%)、「年1回程度」30人(10.8%)、「年1回未満・覚えていない・全くしない」25人(9.0%)となりました。

Q6 何を点検しましたか？（複数回答）



空気圧以外のタイヤ点検で何を点検したかについては、「タイヤ溝」が230人(35.7%)と最も多く、次いで「外傷」186人(28.9%)、「釘・異物踏み」110人(17.1%)、「石噛み」79人(12.3%)となりました。

本件に関するお問い合わせ

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 技術部 柴田

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階

TEL: 03-3435-9092

タイヤ点検結果

タイヤ点検日時 平成29年4月6日、7日、10日

タイヤ点検場所 全国9ヶ所(宮島SA、下松SA、古賀SAでは天候不良により点検時間を短縮して実施)

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

車種別 点検内容	乗用車				貨物				合計		
	普通(3)	小型(5.7)	軽(50)	合計	小型(4)	軽(40)	合計				
点検車両(台) = A	117	109	30	256	17	7	24	280			
タイヤ整備不良車両(台) = B	20	14	9	43	5	5	10	53			
不良率(%) = B/A	17.1	12.8	30.0	16.8	29.4	71.4	41.7	18.9			
タイヤ整備不良の内訳	件数・不良率(%)	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率	件数	不良率
	タイヤ溝不足	0	0.0	1	0.9	0	0.0	1	0.4	1	5.9
	偏摩耗	0	0.0	0	0.0	1	3.3	1	0.4	0	0.0
	外傷(コードに達するもの)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	釘、異物踏み	3	2.6	0	0.0	0	0.0	3	1.2	0	0.0
	空気圧不足	17	14.5	12	11.0	9	30.0	38	14.8	3	17.6
	その他	2	1.7	2	1.8	1	3.3	5	2.0	1	5.9
	合計	22	—	15	—	11	—	48	—	5	—
								6	—	11	—
								—		59	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数の内訳(件数)は必ずしも一致しない。

2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」 / 「点検車両台数」 × 100

3. 空気圧は、ホット状態で計測。

※「その他」は、クラック4件、コードに達しない外傷1件、異種タイヤ装着1件